

Vine



特集1

学生の憩いの場“学生が集う教育・研究・診療”の拠点スペース

シミックプラザ

特集2

「Withコロナ」の新時代への対応

～山梨大学のオンライン活動～

[人物発掘] 大学院総合研究部教育学域人間科学系(教養教育センター) 仲本康一郎教授

[ゼミ紹介] 山梨大学医学部 眼科学教室

[びっくあっぷレッスン] 被服学概論

[クローズアップび〜ぶる] 柴 生実(工学部メカトロニクス工学科3年)/松村昌樹(生命環境学部生命工学科4年)

[サークル紹介] 山梨大学ジャズ研究会/山梨大学硬式野球部/医学部陸上部/医学部軟式テニス部



学生の憩いの場“学生が集う教育・研究・診療”の拠点スペース

シミックプラザ



令和4年3月3日、医学部キャンパスに「山梨大学シミックプラザ」が誕生しました！
グループ学習、個人学習を行うことができる「グループラーニングエリア」や
セミナーや発表会等も開催可能なプレゼンテーションホール「シミックホール」、
また薪ストーブを設置した談話スペースなどもあり、新たな学生の交流スペースとして活用できます。



1 シミックホール



セミナーや講演会を開催できるプレゼンテーションホール。備え付けの椅子は、机が一体となったキャスター式なので、発表会の規模や、内容によって自由にレイアウトを変えることが可能です。

2 ロビー



暖炉とソファがあるロビーは、温かみのある癒し空間となっており、学生たちの憩いの場となっています。



友達との待ち合わせ場所に使っています。ソファがふかふかでも座り心地が良いです。小さなテーブルもあるので、スタバで買った飲み物を置いて、本を読みながら友達を待つこともあります。



4 多目的室1



3 グループラーニングエリア



椅子や机のレイアウトを自由に変えて、個人学習やグループ学習を行うことができます。飲食も可能なので、友達とお昼ごはんを食べることも！



友達とよくここで課題をやったり、お昼ごはんを食べたりしています。カーペットのデザインもおしゃれで居心地がよいです。中庭の景色も見られて、開放感があります。



5 多目的室2

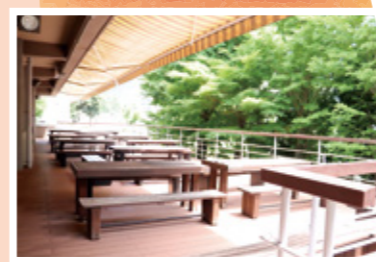


みなさん、ぜひシミックプラザを活用してみてください！



鯉やカルガモも皆さんをお待ちしています

甲府キャンパスにもあります！
～学生の集いの場～



食堂・学生会館



工学部キャンパス藤棚下



キャリアセンター前



ローソン



「Withコロナ」の新時代への対応

～山梨大学のオンライン活動～

コロナ禍で様々な活動が制限される中、本学内においてもオンラインの活用が増えています。

山梨大学で行われている様々なオンライン活動の一部を紹介します。

オンライン 授業

現在は徐々に対面型の授業が増えてきましたが、オンラインを活用した授業も展開されています。実際どのような授業が行われているのか教員・学生に聞いてみました。



工学部
メカトロニクス工学科
西崎博光 教授

現在は、対面・オンラインを学生自身が選べる“ハイフレックス型”を取り入れ、情報系の2科目の授業をオンラインにて配信しています。

オンライン授業だとどうしてもアクティブラーニング(学生が能動的に授業に参加すること)要素が減ってしまいがちですが、演習を積極的に取り入れたりしてその点を補うようにしています。授業によってオンラインとの相性はあると思うのですが、私の担当しているプログラミングの授業では、プログラミングの画面を共有することにより実際にプログラムを実行している様子など、細かいところまで学生に見せることができるので、その点はオンラインになってよかったと思っています。

実際に学校に来て勉強したいという学生もいれば、家で一人で授業を聞いたほうが集中できる学生もいます。それぞれ自分に合った勉強方法を選択できるというのは大きなメリットなので、今後もオンラインを活用した授業展開を考えています。

コロナ禍に入学したため、これまで実習以外はオンライン授業がメインで、最近になり対面授業も増えてきました。実際両方受けてみて、オンラインは自分の好きな環境で授業が受けられる、対面授業は先生に質問しやすく理解度が増すなどそれぞれのメリットがわかってきました。

今後は専門的な授業は対面で、一般教養などはオンラインで、など自分の興味・関心などに応じて受講方法を選んでいけたらいいと思います。



工学部2年生
郷原 大さん



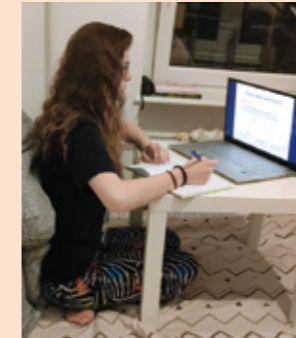
教室に足を運び対面授業を受ける学生



オンライン受講の学生からの質問に対応する西崎教授

ウクライナへの学生にもオンライン授業を配信！

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、学びの機会が奪われたウクライナの大学院生に対する遠隔授業の配信が2022年4月中旬から行われました。



避難先のポーランドで
オンライン授業を受けている学生



なぜウクライナへ授業を配信することになったのですか？

大学院教育マネジメント室に勤務するウクライナ出身のフォミチョヴァ・クセニヤさんを通して、ウクライナにある国立航空宇宙大学から授業提供の要請がありました。



なるほど！実際にどんな授業が配信されたのですか？

AI(人工知能)分野の授業配信を配信しました。避難先でも受講できるオンデマンド方式は便利だと学生からも好評でした。



オンライン 海外研修

海外へ行くことが難しい現在、山梨大学ではオンラインでの海外研修が展開されています。日本にいながら「現地のネイティブ講師による英語授業を受けられる」「現地学生・他大学生と交流できる」「現地の雰囲気を知ることができる」など貴重な機会です。参加学生に感想を聞いてみました！



2021年度春季海外研修
カナダ
ブリティッシュ・コロンビア大学
イングリッシュ・ランゲージ・
インスティテュート
オンラインプログラム参加

生命環境学部4年
荒尾佳奈さん

私は2年生の春休みに、このプログラムに参加しました。毎週1つのテーマに沿った文章を読んだり、聞いたり、ディスカッションをし、それらを通して、新しい単語や文法、ネイティブの方がよく使うフレーズなどを学びました。英語が得意なクラスメイトに囲まれ、はじめは不安がとても大きかったのですが、明るく優しい先生方が楽しい授業をしてくださり、あっという間に4週間が過ぎました。

オンラインのプログラムは現地に行くプログラムよりも費用が抑えられますし、時差ボケなどもなく、日本での今の生活と両立しながら勉強ができました。

将来、実際にカナダに行ってみたいです。



2021年度夏季海外研修
米国
ノーザン・アイオワ大学
オンラインプログラム参加

工学部4年
中山雄太さん

これまでの英語の勉強は読み・書きがメインで、実際に英語を話す経験が少なく、簡単な内容でさえ、口に出して伝えることが難しく感じていました。このプログラムに参加し、授業でのディスカッションや現地の学生との交流を通して、英語を話すことの大切さを実感したと同時に、英語への意欲・英語力ともに向上するととても良い経験になりました。

時差の関係で授業が日本時間の夜にあることやオンラインならではの距離感など大変なこともありましたが、それ以上のことを学ぶことができました。

コロナ禍だからこそこの機会を活用することができてよかったです。

今後、外務省の感染症危機情報レベルが下がったことを確認次第、順次現地への派遣プログラムも再開予定です。海外留学に興味のある方は、ぜひ国際企画課へ問い合わせてください！

国際企画課(甲府キャンパスB1号館2階225) ✉ yu-study-abroad@ml.yamanashi.ac.jp

自分の価値観に

とらわれすぎないでください。

想定外の出来事から得られる

経験もあります。

たまには流れに身を任せ、

回り道をするのも

いいかもしれませんよ。



数年前に授業のあとで留学生たちと記念撮影

という見方がトレンドです。キャンパスを飛び交う学生たちの会話に耳をすますと、自分が学生だった頃とは異なる関係性やモラルが感じられておもしろいです。

時代が求める 多文化教員を養成

近年、日本の学校に外国籍の子どもが増え続けているにも関わらず、現状の教育制度では、その子たちを教える専門的なスキルを持った先生が圧倒的に不足しています。僕が担当する日本語教員養成プログラムは、日本語以外を母語とする子ども達に、専門的な知識とスキルを持って日本語を教えることができる多文化教員の育成を最大の目的として、日本語学校での活躍を目指す学生はもちろん、公立の小中高校の教員を志す学生にもぜひ履修して欲しいプログラムです。

僕は、価値観の違う子ども達が教室にいるのは素晴らしいことだと思うし、すべての子ども達がイキイキと生きられるような教育の場を創り出して行けたらと願っています。学生にも、このプログラムを通して多くを学び、今の日本に広がる閉塞感を打破し、開かれた日本を作って行って欲しいと期待しています。

NAKAMOTO Koichiro

私の宝物 | 朗読CDのコレクション

実は小説を読むことが苦手なので、朗読を愛聴しています。所蔵しているCDは、芥川龍之介、志賀直哉、夏目漱石、ドストエフスキー、スタンダールなど、国内外の古典を中心に200枚ほど。江守徹さん、鈴木瑞穂さん、橋爪功さんといった一流の俳優が、臨場感たっぷりに何役も演じながら読んでくれるので、聞いていてとても楽しいですね。



山梨大学の交流協定校であるタイのコンケン大学で

識したり、何かを認識したときにそれを表す言葉を創り出したりしています。そして、その繰り返しによって、世界の秩序やその人の世界観が形成されていきます。

認知言語学とは、簡単に言うと、物事の捉え方が言語にどのように影響しているかを研究する学問です。僕は、日英語を対象に、そこに隠されたものの見方を探求しています。なかでも今一番興味を持って取り組んでいるのは、「語り」の研究です。人が自らの体験を語る時、どのように出来事を意味づけていくかに興味を持っています。例えば、高校野球の最終試合、9回裏2死満塁の場面を思い出し、「あのときは危なかった。」と振り返るのは守備側の人、「あのときは惜しかった。」と残念がるのは攻撃側の人ではないでしょうか。同じ出来事でも立場によって捉え方が異なります。このように、人は自らの経験をさまざまな言葉で意味づけ、納得しながら、一つの「物語」として編み上げていくのです。おもしろいと思いませんか？

さて、言語学の研究では、新聞、小説、ブログ記事、子どもの作文など、あらゆる言語現象が考察の対象となります。たとえるなら、昆虫採集のような感じでしょうか。僕自身は、人が物事をどう認識しているかに関心があるので、例はたった一つでも大事にしています。というのも、僕が本当に知りたいのは、言語現象そのものではなく、言葉を通して見える人の世界観だからです。もしかしたら、今見ている世界とは違う世界もありえたかも、ということを知りたくて、僕は認知言語学の研究をしているのかもしれない。

ところで、認知言語学の近年の研究は、こうした個人のものの見方から、社会的な人間関係やアイデンティティなどにも関心を広げています。とりわけ最近、言葉こそが私たちの社会を生み出している



人物 発掘

大学院総合研究部教育学域人間科学系(教養教育センター)教授

仲本康一郎教授

15年前に山梨大学に赴任し、ゼロから日本語教員養成プログラムを立ち上げた仲本康一郎教授。溢れんばかりの書籍が並ぶ研究室で、迷走を極めたという学生時代の想い出や、専門である認知言語学のお話など、ユーモアたっぷりに語ってくれました。



得意科目は数学だったのに

育ったのは、広島市内。原爆ドームを見ながら通学していました。勉強もスポーツもほどほどの、あまり目立たない子でしたね。

高校3年のときは、共に数学の教師をしていた両親の影響もあり、数学の教員になるつもりで広島大学教育学部を受験しました。でも失敗してしまっただけで、1年間浪人して、再挑戦することに。共通一次も終わり二次試験に出願する段階になって、「日本語教育学科」という馴染みのない学科があるのに気づきました。大学案内に外国人と広く交流できるとあったので、海外に行けるかもと想像を膨らませて第一志望にしてしまった。無



演劇に夢中になっていた学生時代

事合格できたのですが、そこから迷走の始まりでした。

迷走した大学時代。 2度の修士課程を経て 32歳で認知言語学者に

日本語教育学科は、日本語を外国語として教える教授法を学ぶ、前年度に設置されたばかりの学科でした。文系と理系の学生を半分ずつ募集していたのに、入学してみると周囲は文系の学生ばかり。期待とは裏腹に理系脳の僕にはわからないことだらけで、これからどうやって生きて行こうかと不安や迷いがあるなかで没頭したのが、演劇サークルでの活動でした。

3年次になり専攻を決める時期が来



大学4年の時、アメリカ留学でホームステイ

ても、やりたいことは見つかりませんでした。それで、唯一理系的なセンスが求められるような「言語学」を選びました。このとき学んだのは、言葉の使い分けや文法構造を細かく分析していく構造言語学で、その延長には、人間の脳にはあらゆる言語に共通するルールが生まれながらに備わっているとする生成文法がありました。当時はこれが言語学の主流だったので、卒業後は、当時、生成文法のメッカとされていた上智大学大学院に進みました。

さて、上京し新たな学生生活が始まったものの、次第にぎこちみの理論体系を追う日々息が詰まるようになっていきました。「もっと日常的な感覚で言葉を捉えることはできないのかな」。芽生えた思いはどんどん膨らみ、認知言語学に転向することに。京都大学大学院で2度目の修士課程を経て博士課程へと進み、32歳で言語学者になりました。

専門は、「認知言語学」

言葉と認識は非常に密接な関係にあり、人は、ものの名前を知ることで物事を認

人生100年時代といわれる高齢社会においては、視機能と運動機能と脳機能の3つが生活の質を守るために重要な機能であると言われており、この中の1つである視機能の障害から目を守ることが、眼科学の最も重要なテーマです。

視覚情報は現在社会において非常に重要な情報であり、生活の質を担保するためには、十分な視機能が維持されることが求められています。最近の眼科学の進歩は目覚ましいものがあり、特にこの30-40年間の眼科の診断能力、治療能力の向上には目を見張るものがあります。私が医師になった頃には有効な治療法もなく、失明に至ったような症例でも、今日ではその多くを救うことが可能となりました。

このように眼科学は近年急速に進歩しましたが、いまだに多くの方が視機能を失う疾患があります。それは緑内障です。緑内障は、目の情報を脳に伝える視神経という電気機器のコードのようなものが切れる疾患です。病気の早期から中期まで自覚症状に乏しいものですが、いったん障害を受けた視神経は、回復することはなく、病気の進行を停止させることが現在に



ミーティングの様子

ゼミ紹介

山梨大学医学部 眼科学教室



山梨に根付いた
研究によって
緑内障を
克服する

山梨大学
大学院医学工学総合研究部臨床医学系
教授
柏木 賢治
KASHIWAGI Kenji
1986年山梨医科大学医学部卒業。1987年より山梨医科大学助手(眼科学)。2008年山梨大学准教授(地域医療学講座)。2019年より現職。

おける最良の治療です。

緑内障は日本を始めとする先進国で最も頻度の高い失明原因です。病気の発症や進行に関する最大の危険因子は眼圧という目の中の圧力であり、その圧力を下げるための様々な治療が行われていますが、十分な効果が上がらない患者さんも多数存在し、緑内障の真の発症原因や新しい治療法の早急な開発が求められています。

私たちの研究室では、緑内障の克服を最大の研究テーマとし、現在、様々な研究機関や研究室と多方面にわたる研究を進めています。その中には、培養細胞や遺伝子改変動物を用い、実験緑内障モデルを作成し、緑内障の発症機序を解明し、その治療法を探索する研究や、最近進歩の著しいコンピュータを活用したコンピュータ眼科学、大量の患者データ集め、それを人工知能(AI)によって解析するビッグデータAI研究、さらに山梨県を中心とした患者に関するフィールド研究などを行っています。これらの基礎的研究と臨床研究を連携させ研究サイクルを推進することで、最終目的とした緑内障診療を向上させるための取り組みを進めています。

山梨県は地域性からこのような研究サイクルを進めるのは非常に適した地域であり、すでに多くの成果を挙げることが出来ましたが、さらにこの体制を強化して、一日でも早く、緑内障で失明する患者さんがいなくなることを願って今後とも研究を続けたいと考えています。

人生100年時代、質の良い生活を送るため 必要不可欠な視機能を守るため、日々研究に励んでいます。



実験の様子



メディアにも取り上げられました。取材後の一枚。



株式会社エスワイ精機と共同研究した点眼補助具「eyeラプ」。体が不自由な方や点眼が苦手な方のサポート道具です。



被服学概論

こんにちは、教育学部の家政教育で被服学を担当している岡松です。日頃私たちは何気なく衣服を着ていますが、ふと、衣服によって着心地や美しさが異なることに気づいた経験はありませんか?改めて考えると、私たちが着ている衣服は、目につかないような様々な技法が駆使されています。私は衣服をつくる被服構成学が専門ではありませんが、それらの衣服製作に関わる様々な“人知れない技法”を知る度に、その発想や合理性、ひたむきさにすっかり魅了されてしまいます。そのため担当する授業の中には、必ず「繊維→糸→布→衣服」の「→」に相当する“技法を知る”機会を設けています。

その中で今回紹介する「被服学概論」(正式な科目名称は「被服学概論(被服製作実習を含む。)」になります)は、前期15回、各回2コマ(3時間)かけてスマックと浴衣をつくり、「布→衣服」の技法を学びます。スマックは日本のスマックの元祖と思われる割烹着風のものや、スマックの古形の一つとされる英国および仏国で着られたフィッシャーマンズスマック風のものをつくっています。授業では製作だけでなく、洋服と和服の違いや製作技法の違い、それぞれの服飾文化についても学びます。クラスは家庭科の教員免許取得を目指す男女が最大12名程度集まった小さなグループです。



マシンを使ってスマックを製作しています。

この授業の最大の特徴は「しんどい」ということです。殆ど衣服を製作したことがない学生が、体を包める大きな布を扱います。その大きさは、スマックの場合は1.1m幅の布を2.2mほ

ぴっくあっぷ
レッスン 33

授業のヒトコマ



担当教員

大学院教育学研究科
教育実践創成講座
准教授

岡松 恵

OKAMATSU Megumi

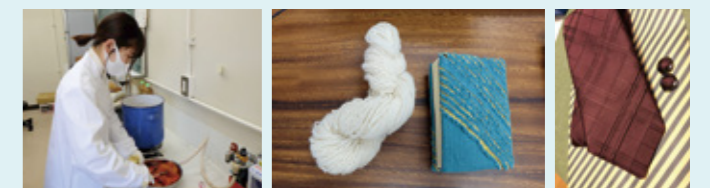


浴衣の着装の様子

浴衣はマシンも使いますが、手縫い作業が多いです。

ど、浴衣の場合は一反、つまり38cm程度の幅の布を11~12mほどにもなります。机の上にも載せきれません。そしてマシン縫い、ロックマシン縫いに加え、数種類の手縫いの技法を使って縫い合わせます。特に浴衣では1cmに満たない縫いしろを三つ折りし、表にも裏にも糸目が出ないように細かく紵(く)けします。また製作前には「地直し」と呼ばれる水洗いとアイロンがけを合わせた工程や、あらかじめ完成後の模様の出方を想定する「柄合わせ」という工程などもあり、面倒です。しかし被服製作実習の得手不得手に関係なく、皆、上手に出来上がり、スマックは調理実習の時や日常着として着てくれています。また浴衣は、昨今の海外製による既製品よりも随分きれいに縫え、自分の分だけでなく家族の分もつくる人もいます。今は感染防止で私語を慎んでもらっていますが、きれいに縫うことができれば心も折れず、皆が教え合いながら仲良く和やかに製作しています。

既製服が手軽に入手できるようになって以来、被服製作実習の意義が問われています。私自身、答えは見つかりませんが、「被服学概論」を通して“人知れない技法”を知り感銘を受けることで、学生個人が服飾文化をより愉しめることに繋がれば良いなと思っています。



他の授業でも糸を紡いだり、ブックカバーやネクタイを作ったりと実習を多く取り入れています。

工学部に進学したいと思った理由は?

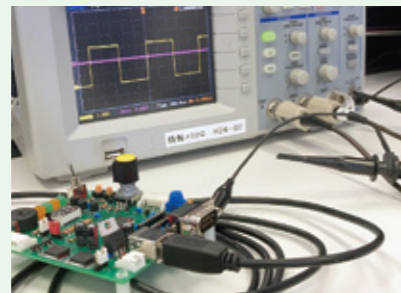
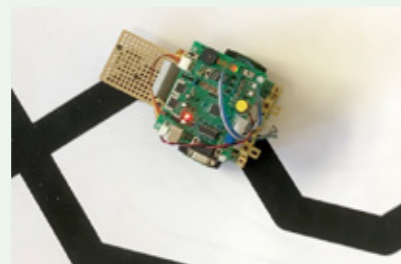
もともと機械系には興味があったので、地元である静岡県隣の国公立大学の中で、工学部がある大学に入ろうと思っていました。工学部のオープンキャンパスに参加し、特にメカトロニクス工学科の説明が面白く、また研究室に展示されていた学生制作のロボットを見て、こんなものが作れるようになりたい!と思い、進学を決めました。

学科の魅力について教えてください!

機械、電気、情報の3分野を広く学ぶことができるのが魅力です。入学した時点で進みたい分野が具体的に決まっていなくても、3分野を学んだ上で分野決めができるので、納得して進路を決めることができます。また、幅広い知識が身につけられるので、ものづくりにおいて必要な、機械や電子回路の設計から動きを制御するプログラムまで自分で作ることができるようになります。

印象的な授業は?

ライトレールロボットを制作する授業が印象に残っています。ライトレールロボットとは、センサーを利用して床面に描いたラインを読み取り、そのラインに沿って走行する車型のロボットのことです。ロボットに取り付ける基盤へのはんだ付け(金属のパーツ同士を溶接によって接合すること)から動作プログラム



授業で制作したライトレールロボット

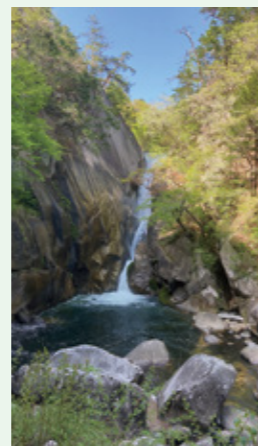
の組み込み、ロボットの車体の外装まで全て自分で考えて制作します。機械、電気、情報の3分野の知識があるからこそできる、とても実践的な授業でした。

部活動はしていますか?

体験会を通してビリヤードの面白さに惹かれ、撞球(ビリヤード)部に入りました。部では、副部長と広報担当をしています。副部長としてはオンラインミーティングの進行、広報担当としてはチラシ作りや、SNSを用いた情報発信をしています。その甲斐もあってか、今年は例年に比べて多くの新入生が体験会に来てくれたので、とても嬉しかったです。

山梨に来て遊びにいった場所は?

有名な観光スポットである昇仙峡に行きました。



昇仙峡に遊びに行きました



フルーツ公園でのBBQ

そびえ立つ山々や谷を流れる川が綺麗で、とても自然を感じられる場所でした。紅葉の綺麗さも有名なので、秋にも行ってみたいです。また、友達と笛吹市にあるフルーツ公園にも行きました。景色が綺麗なところで、みんなでバーベキューをしてとても楽しかったです。

受験生にアドバイスを!

進路に迷っている人は、興味のある大学のオープンキャンパスや大学主催のイベントに積極的に参加してみてください!私自身も山梨大学のオープンキャンパスに参加してこの大学に入りたいと思ったので、大学の雰囲気を実際に肌で感じてみるのが進路決定のヒントにつながるかもしれません。また、受験期中盤になってくると生活が乱れがちになるので、生活サイクルを整えることが継続して勉強していく上で大切なことだと思います。決まった時間に起きて朝ごはんを食べて勉強をし、決まった時間に寝る習慣がついていると、受験期だけでなく、大学に入ってから規則正しい生活を送ることができます。悔いのないようがんばってください!

山梨大学を選んだ理由は?

山梨大学の生命環境学部にはクロウンの研究などに関してとても有名な先生がいると知り、その先生のもとで研究出来たらいいなと思ったのがきっかけです。また、出身の長野県から他県にでて視野を広げたいということもあり、山梨大学を選びました。

今勉強していることはなんですか?

今はバイオテクノロジーやゲノム編集を学んでいて、研究室ではiPS細胞やES細胞という細胞がもつ特有の遺伝子に注目して、その性質や役割を調べています。

自分の研究は基礎研究なのですが、実用化に繋がるわけではないのですが、長期的な目で見れば再生医療や生殖補助医療などの分野に使えるのではないかと考えています。

実際山梨大学に入ってみてどうでしたか?

一番感じたのは「地域との距離の近さ」です。山梨大学には他大学と合同で行っている「フューチャーサーチ」という授業があり、その中で地域のNPO法人や企業と一緒にプロジェクトを立ち上



NPO法人での活動の様子
森林の整備や薪作製のお手伝いをしました

げるという経験をしました。都心の大学ではなかなかできないこの経験を通じて、改めて、今住んでいる「山梨」という場所を見つめることができました。

学外での活動について教えてください!

チャリティーサンタ甲府というNPO法人で活動しています。この団体は県内の学生が主体となって活動しているも



サンタになりきる練習



わくわくと緊張でいっぱいだったクリスマスイブ当日の集合写真

ので、12月24日のクリスマスイブに子供たちへプレゼントを届けています。親御さんと当日に向けての打ち合わせをしたり、サンタになりきるために練習をしたり、子供たちへ贈るプレゼントを作ったりします。去年は手作りのクマのぬいぐるみを贈りました。当日はとても

緊張しましたが、子供たちの喜び姿を見て感動しました。

将来のビジョンはありますか?

まだ将来のことは決めかねていますが、自分の専門性を突き詰めていきたいと思っています。専門性とはその人の「強み」です。NPO法人での活動を通して、専門性があるからこそ、何か新しい活動を起こすことができるのだということを実感しました。

大学院に進むのか、就職をし、その就職先のフィールドで自分の専門性を磨いていくのかはまだわかりませんが、いずれは自分の強みを生かして、「地域活性化」や「地方創生」のひとつの役割を果たせるようになりたいと思っています。

受験生にアドバイスをお願いします!

大切なのは「情熱・努力・友情」です!「志望校に合格するぞ」という情熱を持ち、毎日の授業や勉強を突き詰める努力を続けてください。わからない部分は決してそのままにせ

ず、解決していくことが大切です。また、受験は一人で戦うものではありません。自分の体験になりますが、受験期には友達の存在に支えられました。わからない部分を教えあったり、たまに一緒に息抜きをしたり、友達はライバルでもありよき理解者です。ぜひ、友達と一緒に受験を乗り越えてください!

オープンキャンパスで感じた「楽しさ」と「面白さ」勉強も部活もプライベートも、山梨で満喫しています!

工学部メカトロニクス工学科3年

柴生実

(静岡県出身)

SHIBA Ikumi



サークル活動の様子



大学時代にできた新たな趣味のバイク友人と長野や山梨を旅しました

研究活動やサークル、プライベートにと輝く山梨大生を紹介します。

close-up people

クローズアップ
び〜ぶる

生命環境学部生命工学科4年

松村昌樹

(長野県出身)

MATSUMURA Masaki

Jazz workshop ◎山梨大学ジャズ研究会

古臭いなんてもってのほか?
今も生き続けるJAZZを楽しく自由に!

こんにちは。山梨大学ジャズ研究会です。会員は40名程で、毎週火曜日(LC-27)・木曜日(学生会館2階音楽室)、16:30~20:00で活動しています。

皆さんは「ジャズ」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか。「古臭い」なんて思った人もいるでしょう。しかし、現在活躍しているアーティストでジャズから多大な影響を受けている方

は少なくありません。実際にそういった方々に憧れて入会し、ジャズそのものにハマる人もいます。どうですか?少し興味が湧いて来ませんか?

普段の活動ではセッションを行っています。セッションではスタンダードと呼ばれるジャズでよく演奏される曲を中心に集まった人達で即興的な演奏をします。また、定期演奏会ではJ-POPのジャズアレンジなど幅広く演奏しています。その他にも、夏合宿等のイベントも状況を見ながら行って行く予定です。

このサークルの魅力は自由なところ。気が向いたときに参加するもよし、本気で音楽に取り組むのもよし、といった感じです。また、ジャズに限らず、あまり人に共感してもらえない音楽の趣味もここでは歓迎されることが多く、ジャンルの幅



定期演奏会

Twitter(@nashidai_jazz)
Instagram(@nashidai_jazz)
Youtube(山梨大学jazz研究会)



クリスマスセッション

も広く、とても自由な場所です。

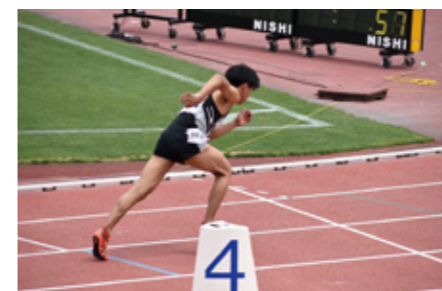
詳しい活動の様子や、日程の変更等はTwitter、Instagramにて、過去の演奏動画等はYouTubeにて発信しております。いつでも見学、入会可能です。興味のある方は各SNSのDMからご連絡ください。



古民家カフェで演奏会

Track-and-field team ◎医学部陸上部

経験者も初心者も大歓迎!
自分のペースで強くなれる環境があります



自己ベスト更新へ!

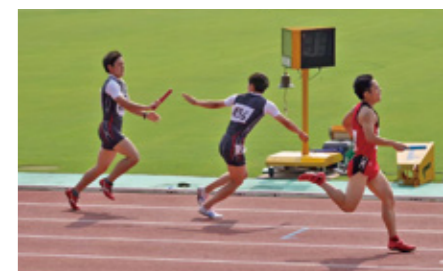
こんにちは!医学部陸上部です。医学部陸上部は現在30人弱の部員で活動をしています。部員は経験者から、大学から陸上を始めた初心者まで様々です。練習も自由参加なので、毎回参加する人、たまに来てフィットネス感覚で走っている人など、それぞれが自分のペースで取り組んでおり、かなり自由な雰囲気です。

大会に出ているような部員は自己ベストを更新するために日々ストイックに頑張ってお

り、過去には個人で東医体(東日本の医学部が参加する総合体育大会)に入賞するような選手がいたり、リレーチームは大会での優勝経験もあります!!リレーで勝ってみんなで喜びを分かちあうのは本当に「青春」って感じがして最高なんです!

ここだけ聞くと、練習についていけなさそうと思うかもしれませんが、最初に言ったように、練習メニューも参加頻度も自由ですし、わからなければ陸上に詳しい部員がメニューの提案をしてくれます!自分のペースで強くなれるので全く心配する必要はありません!

陸上は、走る・跳ぶ・投げるということもシンプルな競技なので、面白さが伝わりづらいかもしれませんが、意外と奥が深く追及していくのが本当に楽しいんです!



仲間からのバトンを受け継ぎます!

少しでも気になったそのあなた!陸上競技をはじめてみませんか?強制感も全くなく気軽に参加できる部活なのでぜひ一度来てみてください!新入生でもそうでない方もマネージャーもいつでも待ってます!



毎年恒例部活納め

Baseball Club ◎山梨大学硬式野球部

楽しい雰囲気の中にも「本気」あり!
ON/OFFのメリハリをつけて全力投球

皆さんこんにちは、山梨大学硬式野球部です。僕たちは現在、4年生2名、3年生9名、2年生6名、1年生3名とマネージャー3名の計23名で活動しています。年に2回行われる関甲新学生野球連盟が開催するリーグで優勝することを目標に日々練習に取り組み、リーグ戦では、長野県、新潟県、群馬県などの大学野球部と毎年熱い試合繰り広げています。

顧問の先生はいますが、指導者はいない

ため、練習メニューや試合日程など、自分たちですべてを考えて活動するなど、高校までの野球とは少し違った、国立大学独特の雰囲気があります。また、個々に空いている時間をつかって自主的に練習したりジムに通ったりと、1人ひとりが「やる」という意思をもって活動に取り組んでいます。

練習中と試合中で雰囲気も変わり、常に緊張感が漂う感じではないので、一見、遊んでいるように

見えることもあります(笑)。しかし、楽しそうに見える雰囲気でも実は本気でやっているのが僕たちの部活ですの

で、「中学・高校まで野球をやっていて、大学ではまた違った本気の野球をしたい!」という方は大歓迎です。決して強いチームではないですが、入って後悔はしないと思います!

もし気になる方がいましたら、山梨大学硬式野球部のInstagramとTwitterがありますので、そちらに連絡をいただければマネージャーが対応します。

火・水・金・土の週4回、4限終わりから東グラウンドで練習を行っていますので、選手・マネージャー共に興味のある方は是非お越しください!お待ちしております!

Twitter(@yamanashi_bb)
Instagram(@yamanashi_bb)



リーグ戦(公式戦)

Soft tennis Club ◎医学部軟式テニス部

医療者をめざす学生として山梨から世界へ
～発信する!繋がる!～

こんにちは!山梨大学医学部軟式テニス部です!僕たちは現在83人で活動しており、医学部の中では規模の大きな部活となっています。

練習は月火木土の週4で行っており、自由参加となっています。「本気で練習を頑張りたい!

!」と毎回参加するもよし、「今週はバイトで忙しい...」「勉強も頑張りたいのでテスト前などの忙しい時期は休みたい」と参加ペースを調整するもよし、それぞれ自分にあったスタイルでテニスを楽しむことができますよ!

一年を通して、他大学と試合をしたり、春闘・

新人戦・東医体・リーグ戦といった大会に参加したりしています。特に大きな大会では、参加部員みんなで試合をしているペアを応援しに行き、とても楽しく盛り上げられます。大勢の仲間たちに応援される中で勝ち取った勝利は一生の思い出になること間違いなしです!

テニス以外にも不定期で開催するパーベキューなどのイベントもあり、同期だけではなく、他学年の人とも仲を深めることができま

Instagram(@yamanashi.med_softtennis)



東医体

す。軟式テニス部に入ったら、先輩がおごってくれる機会もたくさんあるかも...?

少しでも興味を持ってくれたら軟式テニス部のinstagramがあるのでDMで連絡してください。部員一同待ってます!



部内大会 男子幹部



部内大会 全員集合

NEWS & TOPICS 1

ウクライナからの避難者支援を開始!

本学と認定NPO法人フードバンク山梨は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、山梨県へ身を寄せた避難者2人への生活支援や学修支援を開始しました。

4月上旬、県内にいる2人の親族から相談を受けたフードバンク山梨の相談員を通じ、本学に支援の依頼があったことを受け、修学面や住環境の支援について島田学長が即断し、4月27日に記者会見を行いました。

会見では、現在、ボゴモレツ国立医科大学医学部6年生のクレシヨヴ ジュリアンさんの「眼科医を目指し勉強を続けたい」という本人の希望を叶えるため、外国人短期研修生として医学部で受入れ、学業に専念できる環境と住居施設(大学宿舎)を本学が提供することについてなどの説明がありました。

ジュリアンさんの兄のクレシヨヴ オレクシイさんからは「支援いただいた日本の方々に感謝します。弟のジュリアンに山梨大学で勉強する機会と住居を提供いただき、ありがとうございます。一刻も早くウクライナ

に平和が戻ることを願います。」とメッセージが寄せられました。ウクライナ国民が一刻も早く平穏な日常を取り戻されることを心から願うとともに、本学では、引き続き、ウクライナの人々を全力で支援してまいります。



記者会見の様子

NEWS & TOPICS 2

新入生に新型コロナウイルスワクチン接種を行いました

4月28日(木)、甲府キャンパス学生会館において、この春入学した新入生を対象に、新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種を行いました。

今回の接種は、若い世代で新型コロナウイルス感染者が増加している中、10代・20代の3回目の接種が十分に進んでいない状況に

あることから、新入生が安心・安全に大学生活を送れるようにと実施したものです。

接種を受けた学生は、「接種会場がキャンパス内にあるため、気軽に接種することができた。これからは感染対策をしっかりして大学生活を送りたい」「3回目の接種が自分だけでなく、家族や友達を守ることに繋がると思う」と話しました。



接種会場



接種の様子

本学では、令和3年6月から新型コロナウイルスワクチン接種を開始し、これまでに本学学生・教職員、県内の高校生、企業等を含めて、約12万回の接種を行っております。

本学は今後も、新型コロナウイルス感染症対策に全力を注いでまいります。

NEWS & TOPICS 3

「山梨大学東京オフィス平河町」開所式を挙行政

本学では、港区田町にあった東京オフィスを千代田区平河町に移転したことに伴い、5月26日(木)に開所式を挙行政しました。

新オフィスの名称は「山梨大学東京オフィス平河町」とし、産学官金連携や教職員の教育研究など、本学の様々な活動の拠点として、活用することを目的としています。

式では、島田眞路学長が「立地にも恵まれ、便利で安心・安全なこの東京オフィスを多くの人に広く活用いただきたい」と挨拶し、その後、本学関係者・来賓によるテープカットが行われました。

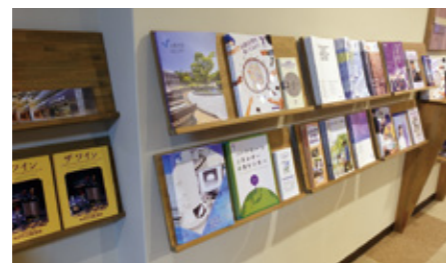
本オフィスは、本学教職員および本学関係者にご利用いただけます。是非、教育研究活動や同窓生の交流の場としてご活用ください。

【東京オフィス利用に関するお問合せ先】

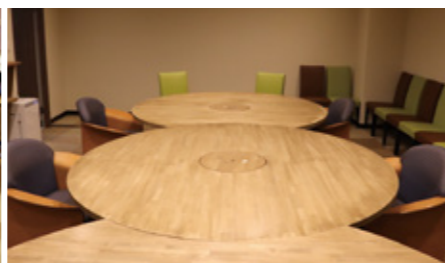
研究推進部研究推進課 Tel:055-220-8030 E-mail:kenkyo@yamanashi.ac.jp



テープカットの様子



オフィス内



NEWS & TOPICS 4

「ワイン科学研究センター新棟お披露目式」を挙行政!

6月9日(木)、本学ワイン科学研究センター新棟のお披露目式を挙行政しました。

新棟は、学生の増加やリカレント教育に対応できる教育・研究スペースの確保やこれまで別棟にあった技術者の教育や企業への技術的援助等を行うための「エクステンション部門」を集約させ、効率的な分析業務や共同研究を行うことを目的に建設されました。

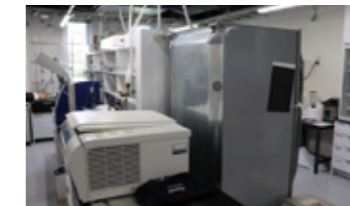
式では、島田眞路学長が「今回の整備により、日本を代表するワイン研究の中核を担うワイン科学研究センターの教育研究機能が更に強化することを期待している」と挨拶し、山梨県ワイン酒造組合の安蔵光広会長からは、「産地として長く続くには、人材が必要不可欠である。最新の設備を整えた環境で、高度な知識と技術を持つ人材を育成し、ワイン産業の活性化にお力添えいただきたい」とご祝辞をいただきました。

新棟は、本棟に隣接し、地下1階、地上3階建てで、地下には、ワイン

セラー、1階には、テイasting用の「官能検査室」、2階には、ワインの味や香りを分析する機器を備えた「機器分析室」が設置されました。



新棟外観



機器分析室



官能検査室

NEWS & TOPICS 5

高度生殖補助技術センター開所式及びキックオフシンポジウムを開催

本学では、令和4年4月に高度生殖補助技術センターを生命環境学域に設置したことに伴い、開所式及びキックオフシンポジウムを開催しました。

6月15日(水)に甲府キャンパスにおいて開催した開所式では、島田眞路学長が「高度な知識と技術を持つ胚培養士を育成するとともに、県内定着に向け、山梨県とともに取り組んでいきたい」と挨拶しました。これを受け、来賓の長崎幸太郎山梨県知事から「県内の不妊治療環境の向上に向け、でき得る限りの支援を行ってほしい」との

お言葉をいただき、その後、長崎知事、小田切三男県子育て支援局長、島田学長、岸上哲士センター長による看板除幕を行いました。

翌16日(木)に開催したキックオフシンポジウムでは、本学関係者や県内で生殖医療に従事されている笠井剛氏(医師)及び飯窪郁江氏(胚培養士)、並びに日本臨床エンブリオロジスト学会理事長などを歴任された沖津撰氏(胚培養士)による講演を行いました。

高度生殖補助技術センター：
<http://cart.yamanashi.ac.jp/>



関係者による記念撮影



シンポジウムの様子

NEWS & TOPICS 6

学校法人千葉工業大学との包括的連携協定を締結

6月20日(月)、本学と学校法人千葉工業大学は包括的連携協定を締結しました。

締結式では、本学・島田眞路学長から「今回の協定が、両大学の教育研究水準を向上させ、社会が求める課題解決、さらには山梨県をはじめ地域の発展と、それを支える科学技術の進展に寄与するものと確信している」、千葉工業大学・松井孝典学長から「私立大学・国立大学の枠組みにとらわれず、人材育成、教育研究を積極的に推進していきたい」と、今後の連携活動への決意が述べられました。

また、長崎幸太郎山梨県知事から、ビデオメッセージにより「両大学の連携によって、本県の主要産業である産業分野の発展にも大きく寄与するものと期待している」とのコメントがあったほか、熊谷俊人千葉県知事からも「各々の強みを生かし、互いに高め合い、両大学と千

葉県、山梨県の更なる発展を期待する」との祝電が寄せられました。

締結式後には記念シンポジウムが開催され、本学・熊田伸弘理事から「山梨大学工学部98年の歴史」、千葉工業大学・古田貴之常任理事(未来ロボット技術研究センター所長)から「ロボット技術と未来社会」と題した講演が行われ、約110名が聴講しました。



記念写真(左から島田学長、熊田理事、古田常任理事)



講演する古田常任理事



山梨共立グループ採用募集中

無差別・平等の医療で地域のニーズに誠実にこたえる
プロフェッショナルを養成します。

病院・職場見学やインターンシップも随時受付中！

医療職を目指す方は
採用サイトをチェック！

Check Here!

山梨共立グループの
働き方がここに！
recruitkyouritsu.com



5G時代を支える 通信用デバイスで明日を創る



住友電工
デバイス・イノベーション

SUMITOMO ELECTRIC DEVICE INNOVATIONS

山梨県中巨摩郡昭和町紙漣阿原1000
(本社:神奈川県横浜市栄区金井町1番地)

<http://www.sedi.co.jp/>

今号の表紙 シミックプラザ



シミックプラザ周辺は緑も多く、自然豊かな雰囲気。
鯉やカルガモなどの生き物とも触れ合えます。
今回の表紙はそんなシミックプラザを、
初夏の雰囲気漂うさわやかなイラストにいただきました。
医学部キャンパスにお越しの際は、
ぜひシミックプラザにも足をお運びください。

【表紙イラスト制作】
ぐらいいん屋(鈴木律) ✉ ritsukomobo@gmail.com

山梨大学広報ヴァイン 2022 vol.41 July

[本誌に関するご意見・お問い合わせ先]

山梨大学企画部広報企画課

☎055-220-8006

✉ koho@yamanashi.ac.jp



公式HP



公式Twitter



コイケの技術が
「つながる社会」を実現する。

